

# 優秀賞

## 御成門中学校

### 表彰理由

御成門中学校では、生き物が棲みやすい環境を構築し、継続的な環境維持を通して生態系を守る重要性を学ぶため、「生態系を維持するために生徒主体の観察と管理を行うこと。」をテーマにビオトープでの活動を展開しました。教員による1日1回の餌やりを行うとともに、生徒が1日3回、メダカの様子だけでなく、水温などの生息環境を含めて観察を継続して記録を作成するなど、生徒と教員が協力して新規のビオトープを作り上げ、試行錯誤で環境改善に努めた結果、新たなメダカを誕生させるまでに至った点が高く評価できます。

3Rでは、「隙間に3（スリー）あーるエコ活動を一緒に30%削減」をテーマに残菜削減や節水、ペットボトルキャップの回収、古本市の開催など幅広い活動に取り組みました。複数の委員会の生徒が中心となりながら成果が高いクラスには表彰の機会を設けるなど全校生徒のモチベーションの向上に繋がる工夫を多く施した活動を展開した点が高く評価できます。

### 特徴的な取組

#### ■ ビオトープチームによるメダカの飼育 (新規)

環境委員が毎日3回水温やメダカの様子を記録し、水草を増やして水温を上昇させるなどの工夫を行った結果、新たなメダカを育成することができました。さらに、毎月の環境委員会だよりの発行やビオトープの玄関への設置によって委員会以外の生徒も観察するようになっており、学校全体の環境に対する意識を向上させることにつながっています。

#### ■ 古本市の開催 (継続)

図書委員会が中心となり、廃棄図書を図書館の前に並べ、廃棄図書の無料配布を行いました。人だかりができるほど生徒が集まる日もあり、ごみとなる予定だった多くの廃棄図書をリサイクルすると同時に古本市に来た生徒が資源を大切にすることを意識するきっかけになりました。

#### ▼ビオトープ観察



#### ▼3Rの多様な取組

